

## 令和元年日亜協会懇親会 @亜国大使公邸サロン (5月28日)

木村 敏夫

遠藤信博会長の流暢な英語のご挨拶で始まった2019年日亜協会懇親会。ベロー大使のご厚意で今年も大使公邸サロンをご提供いただいたの開催です。



日亜友好の更なる促進に向けて挨拶をされる遠藤信博会長



ラグビーWCに期待のベロー大使 亜国の思い出、美味しい Carne を語る中前局長

遠藤会長の開会のご挨拶では、日亜協会を代表しアラン・ベロー大使と大使館員の皆様への祝意を述べ、協会一丸での更なる友好促進の遂行を述べられました。ベロー大使からは秋に開催されるラグビーワールドカップでのイベントを企画しており、これへの日亜協会の協力・参画を要請されました。外務省中南米局中前隆博局長は、日本語で話されたあと直ぐにご自分でスペイン語に訳されながらお話しされ、アルゼンチン駐筈当時の楽しかった思い出やご自身のアルゼンチンカルネ“愛”を語られ、最後に乾杯！Sa l u d！の合唱で懇親会第2部へと移りました。



宋戸理事：名司会深謝



中前局長のご発声で“乾杯！Salud！”

アルゼンチンの雰囲気いっぱいタンゴバンドの仁詩トリオの素晴らしいBGM演奏に加え、法人会員の国際クラブ様のご厚意でアルゼンチン日系人の歌姫大城バネサさんの歌唱と元NHKアナウンサー宮川泰夫さんの友情出演と盛りだくさんのエンターテイメントでした。



仁詩タンゴトリオ：レコーディングスタジオから直行しての素晴らしい演奏でした。

食事は日本水産様よりご寄贈頂いたアルゼンチン赤海老、輸入解禁とは言えなかなか手に入らないアルゼンチンのパタゴニア地域産牛肉のアサードが新しく加わり、チョリパンと

エンパナーダとともにアルゼンチンの味を皆さん堪能されました。

バネサさんのステージでは、テラスからの懐かしいアサードの匂いに“終演までは我慢！”と少々もどかしさを口にするバネサさんでした。持ち歌とともにタンゴの歌も披露し、ペロ一大使も聴き入っておられました。



宮川奏夫氏と大城バネサさん



テラスからのアサードの風が気になりながらの挨拶

また美味しい沢山の野菜と銘酒”徳正宗”を茨城県境町の野本勇作氏と田中重男氏のお二人がご持参されました。初めて懇親会にご参加です。野本氏は幕末の日垂友好の祖、野本作次郎のご子孫です。ご自宅敷地内で田中氏とともに友好の象徴“モンテネグロ会館”を維持管理されておられます。



野本勇作氏と田中重男氏



アルゼンチンワインと徳正宗

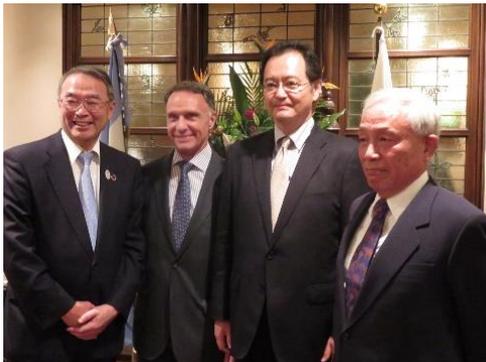
お陰様で「亜と和」の味のコラボレーションをご来場の皆さま楽しまれました。

その中でダイニングテーブルの前に終始立ち続けたものの、アルゼンチン談義に没頭してしまった某メーカーリケジヨの若き会員女史は、気が付けば「赤海老2尾で満足」ということになったそうです。



公邸サロン入り口のポスターとテラスでアサードされたパタゴニア地域産牛肉

アルゼンチンの牛肉を初めて食べてとても気に入った出席者の方が、翌日さっそく家族を伴い今度はウルグアイ産牛肉のステーキハウスに行かれたそうです。感想は「川をひとつ隔てただけでどうしてこうも違うのか！」とパタゴニア地域産牛肉に軍配を上げたそうです。



メインゲストとメインホストの皆さま



ベロー大使とともに



テラスから夜景を背景に



ご出席の皆さん

アルゼンチンを堪能！いいね！



ペロー大使と楽しく談笑

満面の笑みでツーショット



今年の日亜協会懇親会も天候に恵まれ多くの出席者の方々にお集まりいただき、会員どうしでの親睦と、会員がお連れになった多くのご友人もアルゼンチン大使館の特別な雰囲気を感じ、アルゼンチンを感じあるいは思い出されていたようでした。美味しい食

事と VINO と徳正宗を味わいながら、タンゴ音楽とダンス、歌姫大城バネサの歌唱とバラエティーあるイベントとなりました。また境町からお招きした野本勇作氏と田中重男氏より余りあるご提供を受け誠に感謝に堪えません。

懇親会がお開きとなり皆さん一階に下りると、法人会員の国際クラブ様からの数々のお土産を受け取られ、ひと時の余韻を感じながらのご帰宅となられたことと思います。

皆様ご出席、ご協力大変有難うございます。

また来年もと考えております。嬉しいことに既に次回の参加予約があり、是非とも一度出席したいとの申し出が多数来ています。会をとりまとめる私としてはとても励みになり、今回の反省点も踏まえ更に皆様に楽しんでいただける親睦の場を作り上げたいと考えております。

(きむら としお：当協会常務理事)